

# 松禪寺報

石室山松禪寺

住職 高橋 乾峰

〒 668-0363

兵庫県豊岡市但東町栗尾 469

電話 0796-55-0034

FAX 0796-55-0066

Mail kenpou@syozen.com

第 111 号

<https://syozen.com>

<https://www.facebook.com/syozenji>

発行日 令和 6 年 12 月 25 日

## 今年もお世話になりました

令和 6 年も残すところ後数日となりました。皆様的一年はいかがでしたでしょうか。良き事もあれば悪しきことも重なった



世の中が平穏無事でありますように

# 五風十雨

ごふうじゅう  
ごふうじゅう

一年だったかもしれません。今年の元旦早々には能登地方で地震があり、大変暑い夏と秋を過ごし、さらには風水害が重なるなど、今年もまた自然災害に悩んだ一年といえましょう。

中国の書物の一節に、儒学者が泰平のめでたいしるしの現れを論じている一節で、『道中には物を掠めたり虜にするものがなく、風は枝に音をたてて吹かず、雨は土塊を砕かず、五日に一度風が吹き、十日に一度雨が降るといふ。』という言葉があります。ここから「五風十雨」という熟語になりました。「五日にして一たび風ふき、十日にして一たび雨ふる」ということから、氣候が穏やかで順調であり、豊作の兆しとされてきましたが、世の中が平穏無事であるたもととなっています。

雨も風も巡る季節のなかでは、重要な要素となりますが、木々や家屋を吹き飛ばす風や、堤防などを決壊する雨風は勘弁してほしいものです。近年の地球温暖化の影響でしょうか、風も雨も極端に強くなりました。「日頃の行いが良いので、今日は快晴で」とよく聞きますが、一人の行いが天候を操るなど可能な訳がありません。

来年こそ「天下泰平」「五穀豊穰」「福德万年」「五風十雨」といえる平和な一年になりますよう、新年を迎えるにあたり心を込めて祈りましょう。

# お寺の一年を振り返りました

## 会費の平均化はじめ護持運営へのご協力に感謝申し上げます

令和6年も残すところ数日となりました。正月早々に発生した石川県能登地方を震源として発生した最大震度7の地震は、多くの尊い命を奪いました。その後も風水害による被害が各地で発生し、自然災害の脅威を感じた一年でもありました。では、松禪寺と花園会の令和6年を振り返ってみましょう。

### 【1月】

1日：年賀受け、午前10時より新年祈祷法要に約30人参拝。午後2時より桂昌寺にて檀家皆さんと新年のご挨拶  
2日、3日：年頭拝礼で町内の檀家さん87軒を訪問して祈祷札等を配布  
4日：遠方の檀家様に般若札等を郵送  
5日：玉林寺大般若祈祷会（山東町）  
7日：瑞泉寺大般若祈祷会（和田山町）  
8日：初葉師（松禪寺薬師堂）  
13日：寶積寺



▲第1回評議員会＝1月28日

津送（養父市）※葬式

15日：圓明寺大般若祈祷会（和田山町）

20日：松禪寺第1回総代会（総代6人、住職）

24日：妙心僧堂齋会（京都市）

28日：松禪寺第1回評議員会（総代6人、評議員12人、住職）令和5年度事業報告と決算、令和6年度予算案を承認。

### 【2月】

2日：山陰東教区住職研修会（妙心寺）

9日：醍醐寺津送・新忌斎（福知山市）※在家の葬式と忌明け法要

23日：松禪寺報107号、花園会護持資料、花園会・護持会費通知書を評議員に配布

26日：松禪寺報107号、花園会護持資料、護持会費通知書を遠方檀家に郵送

### 【3月】

2日：山陰東教区花園会女性部奉仕団参。水繩八重美さん、寺庭が参加

18日：妙心寺派定期巡教。『おかげさま 学



▲妙心寺派定期巡教＝3月18日

んで気づいて 法門無量誓願学』布教師・森山隆司師（出雲市・鹿苑寺住職）、10人参加  
20日：彼岸会（松禪寺）、25人参拝  
20日：彼岸会・観音講・総会（桂昌寺）

31日：洞光寺晋山式（朝来市）

31日：第35代妙心寺派管長・小倉宗俊管長猥下退山式

### 【4月】

1日：第36代妙心寺派管長・山川宗玄管長猥下入山式

3日：相國僧堂齋会（京都市）  
14日：瑞泉寺齋会（和田山町）

### 【5月】

5日：花まつり（松禪寺にて終日）  
18日：山陰東教区寺院総会・研修会（和田山町）

19日：第1回境内掃除（松禪寺）上山根、下山根、貝田、平田、佐々木の評議員5人、総代6人、有志3人、計14人。

19日：松禪寺第2回総代会（総代6人、住職）

法人会計決算の承認、団参等の協議  
26日：第36代妙心寺派管長・山川宗玄管長猥下晋山式

### 【6月】

16日：山陰東教区坐禅会（大同寺）  
16日：柴地・本城おたび（松禪寺）

17日：山陰東教区第二部部内会（和田山町）、柴田総代、住職出席

22日：松禪寺報108号、おかげさま号を評議員

に配布

24 日：松禪寺報 10 号、おかげさま号を町外檀家へ郵送  
27 日：新亡供養 (妙心寺)  
岡畑大介様、岡畑知津子様、住職参拝

【7月】

7 日：ふるさと委員会主催「薬師祭」。「柳と暮らし ONTO (オント)」岡井見恩子さんの講演『伝統をもう一度、日常へ。』しなやかな心で。25 人参加



▲薬師祭にて岡井見恩子さんの講演=7月7日

21 日：松禪寺報 109 号、教区報、団参募集ちらし等を評議員に配布  
22 日：松禪寺報 109 号、教区報、団参募集ちらし等を町外檀家へ郵送  
23 日：シルバー人材センター境内剪定等

28 日：第 2 回境内掃除 (松禪寺) 清滝、本城、柴地、大貝、佐田、石原、久畑の評議員 7 人、有志 2 人、総代 6 人、計 15 名

28 日：松禪寺第 3 回総代会 (総代 6 人、住職) 施餓鬼会、建更見直し等について

【8月】

3 日：観音寺施餓鬼会 (名古屋市)  
3 日：楊岐院施餓鬼会 (豊岡市)  
4 日：慧林寺施餓鬼会 (和田山町)  
5 日：慈眼寺施餓鬼会 (出石町)  
7 日：松禪寺施餓鬼会 (山門・添え施餓鬼、

新亡 5 座、鶏魂供養)

8 日：棚経 (三木市)

9 日：棚経 (栗尾) 39 軒

10 日：棚経 (久畑、佐田、平田、佐々木) 23 軒

11 日：棚経 (南尾、出石) 8 軒

11 日：願成寺施餓鬼会 (出石町)

12 日：棚経 (豊岡、和田山、夜久野、福知山、岩滝) 15 軒

13 日：棚経 (西谷) 19 軒

15 日：東源寺施餓鬼会 (夜久野町)

15 日：清太院施餓鬼会 (夜久野町)

16 日：瑞泉寺施餓鬼会 (和田山町)

18 日：桂昌寺施餓鬼会 (西谷) 山門・添え施餓鬼、新亡 2 座

20 日：大同寺施餓鬼会 (山東町)

24 日：栗尾高年クラブ追悼会 (松禪寺)

25 日：天寧寺開山忌 (福知山市)

22 日：彼岸会 (松禪寺) 18 人参拝

22 日：彼岸会・観音講 (桂昌寺)

23 日：松禪寺報 110 号、護持会費通知書を評議員に配布

24 日：松禪寺報 110 号、護持会費通知書を町外檀家へ郵送

23 日：松禪寺報 110 号、護持会費通知書を評議員に配布  
24 日：松禪寺報 110 号、護持会費通知書を町外檀家へ郵送



▲第 2 回境内掃除=7月28日

【10月】

10 日：山陰東教区第二部内会 (和田山町) 住職出席

28 日：大本山妙心寺団体参拝、松禪寺 16 人、桂昌寺 6 人、住職、寺庭の計 24 人。

3 日：達磨忌・開山忌 (松禪寺) 17 人参拝

3 日：達磨忌 (桂昌寺)

8 日：大徳僧堂遠鉢来山 (松禪寺)

10 日：道路脇の松禪寺看板修理 (渡辺総代)

14 日：妙心僧堂但馬遠鉢来山 (松禪寺) 16 日まで滞在。

15 日：山陰東教区寺院役員研修会 (朝来市) 柴田総代出席

16 日：山陰東教区花園地方大会 (朝来市) 福田総代、渡辺総代、中島総代出席

2 日：楊岐院晋山式衆評 (和田山町)

7 日：総代会

8 日：成道会

12 日：薬師堂雪除け設置 (藤田建設)

22 日：松禪寺報 111 号配布

29 日：餅つき (松禪寺)

31 日：除夜の鐘撞き

31 日：除夜の鐘撞き



▲本山団体参拝=妙心寺三門

# 大本山妙心寺へ団体参拝に行ってきました

## 団参法要、先祖供養、妙心寺拝観など、ゆったりとした時間を過ごしました

10月28日（月）、大本山妙心寺へ団体参拝に行ってきました。松禪寺から

16人、桂昌寺から6人、住職と寺庭の総勢24名で、地元を出る時は雨降り

でしたが、京都に着けば雨もあがり、暑くもなく寒くもなく、穏やかな一日でした。

午前11時より妙心寺山内の微妙殿において、法要に臨みました。霊雲院・則竹秀南老大師のご導師により団参法要が営まれ、希望者による先祖特別供養では先祖代々や戒名が読み上げられました。

法要が終わって、参拝回数が5回と10回を迎えた参加者の表彰が行われました。10回目を迎えた福田春彦さん（平田）、中島義高さん（佐田）、5回目を迎えた久世善樹さん（佐々木）、西垣修美さん（栗尾）、酒井みちさん（栗尾）、



大本山妙心寺参拝記念 令和6年10月28日



▲開山堂前にて説明を聴く皆さん▼



▲代表で参拝表彰を受ける西垣修美さん

以上の5人が表彰されました。

妙心寺山内の拝観では、法堂、仏殿、山門、玉鳳院、開山堂を、丁寧な解説でゆっくり周ることができました。

少し遅くなりましたが、午後1時頃から花園会館で昼食、また、お買い物もできました。

令和7年度からは妙心寺二世となる興祖微妙大師650年遠諱団参の扱いとなり、「参拝證」のスタンプも2個となり、遠諱の記念品もいただけます。ぜひ来年も本山団体参拝に行きましょ。

# 達磨忌・開山忌を営みました

禪宗の開祖である達磨大師と松禪寺の開山・開基和尚様の遺徳を偲ぶ法要

11月3日（文化の日）、松禪寺では達磨忌と開山忌を営みました。参拝者は17人と少なめでしたが、寒くもなくゆつたりとお参りできました。昨年は大量発生のカメモシに悩まされましたが、今年はほとんど姿を現さず安心しました。

午前8時半から当番さんがけんちん汁、ふるふき大根、和え物を調理していただき、法



▲達磨忌の荘厳

要後に参拝者全員でいただきました。過去にはストーブを焚いた事もありましたが、昨日の雨が嘘のような快晴で、穏やかな法要となりました。参拝者皆さん、当番さん、ありがとうございました。

夕方からは兼務寺院の桂昌寺でも、達磨忌を営みました。



▲御齋（茶飯、けんちん汁、ふるふき大根、白和、マスカット）



## 【俳句】

横槌をもて注連繩しめなわの藁を打ち  
愛宕山くぐる鳥居の淑気かな  
竹筒の酒を温めるどんどこかな

句集『五月晴』著者・水繩松生

ずぶぬれて氷雨に

石の仏たち

山寺しじまの静を愛し

雪もよし

元旦やふる天地の

おおらなる

先住・高橋英州

## 【短歌】

クリスマス正月用品並べられ

気忙しさ増すスーパーの中

筆ペンと年賀スタンプ選びおり

手書き派なりのこだわり持ちて

塵取りで雪かきをする人のあり

スコップを持たぬは吾だけでなく

太田弘美 つくば市



▲佛通寺（広島県三原市）

# 興祖微妙大師六百五十年遠諱大法会

## 少水魚有樂 いま、ここを生きろとわかせ

令和 8 年 4 月 1 日～令和 9 年 3 月 31 日

おんきだいほうえ  
遠諱大法会とは

「遠諱」とは寂後、五十年に一度、祖師方や故人の遺徳を偲ぶ節目を言います。ご功績を顕彰し御恩に感謝して大法会（法要）を執り行います。

今回厳修いたしました。遠諱は、妙心寺第二世の興祖微妙大師が遷化されてから六百五十年目の法要になります。



▲天授院蔵

的な解釈です。ところが微妙大師は「楽しみがある」と教えているのです。

寿命ほど思い通りにならないことはありません。考えてみれば寿命に限らず、人生は思い通りにならないことであふれています。微妙大師の人生もそうでした。

微妙大師の前半生は後醍醐天皇の忠臣として活躍した万里小路藤房卿でした。建武の新政を始めた後醍醐天皇は、大内裏造営に力を入れる一方で論功行賞を疎かにしました。藤房は再三諫めましたが、人生は思い通りにならないもので、後醍醐天皇は耳を貸しませんでした。そこで藤房は意を決して出家を志したとされます。「思い通りにならない人生にあつてなすべきことは何か」という人生の根本問題を熟慮したうえで決断だったことでしょう。

出家した微妙大師は、無相大師の下で「本有円成仏」の公案に参じ、修行研鑽を積みまします。では、その結果、この根本問題に対してどのような答えを手に入れたのでしょうか。

本遠諱のテーマは「いま、ここを生きるしあわせ」です。思い通りにならない人生だと

しても、「いま、ここ」を精いっぱい生きること、誰の人生にも「真実の楽しみ」が立ち現れてくる。微妙大師の「少水の魚に楽しみ有り」という言葉には、

そんな教えが示されているのではないのでしょうか。

### 微妙大師について



授翁宗弼禅師（微妙大師、一二一九～一三八〇）は妙心寺開山・関山慧玄禅師（無相大師、一二七七～一三六〇）の法を嗣いだ唯一の弟子であり、妙心寺二世として関山慧玄禅師の法灯を堅持しました。

万治 2 年（一六五九）、後西天皇より「神光寂照禅師」と諡され、明治 12 年（一八七九）には明治天皇より「円鑑国師」の国師号が下賜されました。さらに昭和 2 年（一九二七）、昭和天皇より「微妙大師」の大師号が贈られています。そして今日においては、師が妙心寺開創期の同寺の造営と興隆に尽力した功績から「興祖」と称えられています。（妙心寺ホームページより転載）

### 遠諱テーマについて

微妙大師の遺品は数少ないのですが、その一つにこの「少水魚有樂」の一幅があります。「少水の魚に楽しみ有り」と読み下します。魚にとって水が大切なのは言うまでもありません。その水がだんだんと少なくなっていくのです。「魚」とは「私たち自身」であり、「水」は「寿命」と解釈できましよう。人生は実に無常です。寿命は刻一刻と尽きようとしています。

『法句経』には「少水の魚の如し、斯に何の楽しみか有らん」とありますので、無常の人生に楽しみはない、というのが仏教の一般

# 「うかつあやまり」

江戸しぐさに学ぶ争いを防ぐ方法



電車やバスのなかで足を踏まれた事がありますか。腹立たしいですよ。頑丈な靴でも履いていれば別ですが、草履履きなら痛いし足袋ならば絶対に汚れます。「何処を見ているのだ、気を付けろ」と怒り心頭のことでしょう。

ところが、江戸時代では足を踏まれた方が誤ったというのです。これを「うかつあやまり」というそうです。足を踏んだ人が謝ると、「いえ私の方がうっかりしていました」と謝罪することをいいます。足を踏んだ人に対し、あなたは決して悪くありませんよと返し

たのです。

徳川幕府中期には、江戸は百万人を超す世界最大級の都市でした。しかし、一般町人が暮らす範囲は決められており、人口密度の高いまちの暮らしをいかに快適にしていけるかは、大きな課題だったといえます。そこで、考えられたのが「江戸しぐさ」です。仏教、神道、儒教などの影響を受けた日本人独自の哲学を、一般町人にも広げたもので、その一つが「うかつあやまり」です。

「目には目を歯には歯を」という言葉が

ありますが、足を踏まれたら踏み返すでは、争いを繰り返すことになります。足を踏んだほうも「やってしまった」と心の中では悪いことをしたと思っただけでしょう。足を踏まれた人から、自分がうっかりしていたからと言われれば、どこもなく救われた気がします。まさに「おかげさま」「おたがいさま」の精神が宿っています。争いを未然に防ぐこと、互いに許しあう「うかつあやまり」を、今の時代も見習うことが必要と感じました。

## おかげさま川柳 募集のお知らせ

今回のテーマは「桜」です。  
五・七・五の川柳にして投稿してください。

第八弾

投稿期間 令和7年3月31日(月)まで

投稿作品は会報「おかげさま」等で発表いたします。また、妙心寺派の布教活動で使用する場合がございます。ご了承ください。

お一人様一句でお願いします

- ①投稿作品は未発表で自作のもので著作権・肖像権などを侵害していないものに限りま。
- ②投稿作品の著作権及び使用権利は花園会本部に帰属します。
- ③投稿作品の返却はいたしません。
- ④ペンネームがない場合は氏名を掲載いたします。
- ⑤投稿にあたっての個人情報目的以外には使用いたしません。

●ハガキ・FAX・メールでご投稿ください。また、必ず氏名、ペンネーム(なくても可)、郵便番号、現住所、電話番号を書き添えてください。

投稿・お問い合わせは花園会本部(下記)まで  
(※電話はお問い合わせのみです。投稿の受付はできません。)



臨濟宗妙心寺派  
花園会本部

〒616-8034 京都市右京区花園木辻北町1

発行人 野口善敬

編集 花園会本部

TEL.075-463-3121 FAX.075-464-9586

<https://www.myoshinji.or.jp/>

E-mail hanazonokai@myoshinji.or.jp



宗務本部HP



妙心寺HP

12月31日（火）	午後11時半過ぎ	除夜の鐘撞き
1月1日（水）	午前0時	大般若祈祷会（住職）
	午前8時半～正午	新年あいさつ受け
	午前10時	新年祈祷法要、新年あいさつ
	午後2時	桂昌寺にて新年祈祷法要
1月2日（木）	午前9時～	年頭拝礼（町内）
1月3日（金）	午前9時～	年頭拝礼（出石、豊岡、和田山、福知山、岩滝）



# 年末年始のお願いと行事等についてお知らせ

年末年始の行事等についてお知らせいたします。

## ◎新年度の評議員について

松禪寺花園会の評議員14名については、一年で交代される地区が多いのですが、令和7年の評議員のお名前を速やかに寺へ報告して下さい。

## ◎除夜の鐘撞き

12月31日（火） おおよそ午後11時半ぐらいから除夜の鐘撞きを行います。除夜の鐘撞きに來られた方々には、「開運入浴剤」を進呈いたします。先着50名様に限ります。

## ◎新年祈祷法要

1月1日（水） 午前10時より本堂において、新年祈祷法要を行います。ご都合がつかます方々は、是非お参り下さい。

## ◎新年挨拶受け

1月1日（水）の午前中、新年挨拶受けを本堂にて行います。参拝者にはお菓子をお持ち帰りいただけます。

## ◎年頭拝礼

1月2日（木）には町内を、3日（金）には出石、豊岡、日高、和田山、福知山、岩滝などを廻らせていただきます。



令和7年（二〇二五年）に年忌法要を迎える故人の歿年度は、次のとおりです。法要の実施日については、なるべく早めにご連絡ください。年忌正当年にあたられるご先祖様がおられるかの確認は、寺へ電話でお尋ねくださるか、年忌操出を本堂に貼り出していますので、寺にお越しの際にご覧下さい。また、年明けには個別に通知を差し上げます。

### 【令和7年・年回表】

- 一周忌 令和6年歿
- 三回忌 令和5年歿
- 七回忌 平成31年歿（令和元年）
- 十三回忌 平成25年歿
- 十七回忌 平成21年歿
- 二十五回忌 平成13年歿
- 三十三回忌 平成5年歿
- 五十回忌 昭和51年歿
- 百回忌 大正15年歿（昭和元年）